



校長室通信

小国町立小国中学校

令和 3. 5. 21 (金) No5

文責 狭間卓史



「小さな一歩、大きな一歩」

学習用タブレットの持ち帰りに関しましては、先週からの急なお願いにもかかわらず、ご協力をいただきましたこと本当にありがとうございました。

現在、本県はもとより、阿蘇郡市内でも新型コロナウイルスへの感染が急速に拡大しつつある現状です。今後予想される様々な状況に対して、万が一、休校や学年・学級閉鎖等の措置をとらせていただいた場合に、生徒の学びの環境を保障する一つの方法として、タブレットを活用したオンライン授業も考えています。今回はそのための準備として実施させていただいた次第です。しかしながら、今回の取組では、寄宿舎生徒が自宅に持ち帰っての配信テストは未実施のままですし、Wi-Fi（ワイファイ）環境についても、今後、お子さんの成長に合わせて考えていきたいという方針のご家庭もありません。本校としては、様々な状況をふまえた学習手段のご提案について、継続して対応を考えていきたいと思っています。



【 教室と家庭がつながりました 】



【 熊日新聞社の取材を受ける様子 】

今回、初めての取り組みでしたが、意欲的に学ぼうとする生徒の姿と、チームとして熱心に準備を進める職員の姿に、何よりも嬉しさを感じる機会となりました。取り組みとしては、まだまだ始まったばかりの小さな一歩ですが、可能性を秘めた大きな一歩だったととらえています。



「嬉しい姿、微笑ましい光景」

朝の登校時のことです。正門前で交通指導をする際に見かける嬉しい姿や微笑ましい光景についてご紹介します。



まず、嬉しい姿とは、生徒が気持ちの良い挨拶をしてくれることです。もう一つ嬉しい姿は、横断歩道を渡り終えた生徒の中には、止まってくださった車（運転手さん）の方に体ごと向き直って挨拶をする生徒がいることです。私も車を運転する側の一人として見た時、「こんなふうに挨拶されたら気持ちいいな」と、思わせてくれる姿です。

次に微笑ましい光景についてです。ご家族に送ってもらった生徒が、降車後に手を振り見送る姿や、「行ってきます」や「ありがとう」と伝える姿。また、それに対してご家族の方も手を振り返したり、「行ってらっしゃい」等の言葉を返してくださる姿があります。

そういうご家族のやりとりの光景を微笑ましく眺めている私です。きっと、こういう何気ない日常のやりとりの積み重ねも、間違いなく、生徒の心の中に残っていくはずだと思っています。来週も生徒の嬉しい姿、ご家族の微笑ましい光景を楽しみにしています。